

平成 19 年度野菜茶業課題別研究会  
「虫媒性ウイルス病の防除における天敵利用のあり方」  
第 17 回天敵利用研究会三重大会  
共催研究会 プログラム

開催日時：平成 19 年 11 月 27 日（火）13:00～28 日（水）15:30  
開催場所：アスト津 [4 階：アストホール]（三重県津市羽所町 700）  
主 催：野菜茶業研究所，天敵利用研究会

第 1 日目（11 月 27 日） 受付開始 12:00

**【開会】** (13:00～13:10)

挨拶

野菜茶業研究所長 吉岡 宏  
天敵利用研究会会長 根本 久

事務連絡

**【シンポジウム】** (1 題 30 分，質疑 5 分) (13:10～16:15)

S 1. ウイルス媒介性昆虫に対する天敵利用：結論と海外の研究情勢 (13:10～13:45)  
矢野栄二（近畿大学農学部）

S 2. アザミウマ防除における天敵利用とウイルス病の防除について (13:45～14:20)  
村井 保（宇都宮大学農学部）

S 3. コナジラミ防除における天敵利用とウイルス病の防除について (14:20～14:55)  
大野和朗（宮崎大学農学部）

休憩 10 分 (14:55～15:05)

S 4. トマトにおける天敵利用と病害虫防除 (15:05～15:40)  
田口義広（出光興産(株)）

S 5. ナス，キュウリにおける天敵利用とアザミウマ防除 (15:40～16:15)  
古味一洋（高知県農業技術センター）

**【パネルディスカッション】** (16:20～17:00)

講演者 矢野栄二（近畿大学農学部）  
村井 保（宇都宮大学農学部）  
大野和朗（宮崎大学農学部）  
田口義広（出光興産(株)）  
古味一洋（高知県農業技術センター）

司会 宮井俊一（中央農業総合研究センター）

コメンテーター 本多健一郎（野菜茶業研究所）

**【情報交換会】** (18:00～20:00)

第2日目（11月28日） 開場 9:00

【一般講演（午前）】 (9:15～12:25)

講演時間：1題15分（講演12分，質疑3分；1鈴10分，2鈴12分，終鈴15分）

座長：講演者が次の講演の座長を担当

G1. 各種微小害虫・天敵とイチゴ品種間差異 (9:15～9:30)  
○大矢武志・植草秀敏（神奈川県農業技術センター）

G2. イチゴ育苗ほにおける土着天敵とその活用の可能性について (9:30～9:45)  
○佐藤加奈巳・吉田義彦・鈴木雅子（埼玉県東松山農林振興センター）

G3. 天敵誘引植物ポリジを用いたイチゴのアブラムシの生物的防除 (9:45～10:00)  
○根本 久（埼玉県農林総合研究センター）・大森千菜子（東京農業大学国際食料情報学部）

G4. ハスモンヨトウ核多角体ウイルスを活用したイチゴの農薬低減技術 (10:00～10:15)  
○畠山修一・加藤修一（埼玉県東松山農林振興センター）

G5. 施設イチゴのIPM体系におけるカブリダニ製剤の利用と土着カブリダニの可能性について (10:15～10:30)  
○東浦祥光・本田善之（山口県農林総合技術センター）

G6. 天敵利用を農家に普及させる条件—カブリダニの場合 (10:30～10:45)  
○高木正見（九州大学農学研究院）・吉田貴美子（九州大学農学部）・嶽本弘之（福岡県農業総合試験場）・角野一寿美（福岡県南筑後地域農業改良普及センター）・樽本慶子（福岡県北筑前地域農業改良普及センター）

休憩10分（10:45～10:55）

G7. コミドリチビトビカスミカメを用いたタバココナジラミ防除の可能性 (10:55～11:10)  
中石一英（高知県農業技術センター）

G8. タバココナジラミに対する在来天敵の防除効果と有効活用への取り組み (11:10～11:25)  
○松本宏司（高知県安芸農業振興センター）・安芸市ナスIPM研究会

G9. トマト黄化葉巻病発生圃場における天敵寄生蜂によるコナジラミ防除の試み (11:25～11:40)  
○西野 実・北上 達（三重県科学技術振興センター）・本多健一郎（野菜茶業研究所）

G10. ナス栽培における在来天敵を利用した防除 (11:40～11:55)  
○山口説夫（高知県安芸農業振興センター）・安岡幹夫（JA土佐あき）

G11. 露地ナス栽培における植生管理とナス害虫及び天敵の発生について (11:55～12:10)  
○大森千菜子・足達太郎（東京農業大学国際食料情報学部）・中野史織（東洋大学生命科学部）・根本 久（埼玉県農林総合研究センター）

G12. 大阪府の無加温ハウス栽培ナスにおける天敵利用による害虫管理とその問題点Ⅱ (12:10～12:25)  
○柴尾 学（大阪府環境農林水産総合研究所）・松本謙一（大阪府南河内農と緑の総合事務所）・田中 寛（大阪府環境農林水産総合研究所）

昼食休憩50分（12:25～13:15）

【一般講演（午後）】

(13:15～15:45)

講演時間：1題15分（講演12分，質疑3分；1鈴10分，2鈴12分，終鈴15分）

座長：講演者が次の講演の座長を担当

- G13. マツノマダラカミキリの捕食寄生者サビマダラオオホソカタムシの果樹穿孔性カミキリムシ防除への利用の可能性 (13:15～13:30)  
浦野忠久（森林総合研究所関西支所）
- G14. 貯蔵食品害虫に対する捕食性カメムシと寄生蜂の利用 (13:30～13:45)  
○村田未果（農業生物資源研究所）・今村太郎・宮ノ下明大（食品総合研究所）
- G15. ショクガタマバエを利用したニホンナシのアブラムシ類防除 (13:45～14:00)  
○佐々木正剛・穴澤拓未（福島県農業総合センター果樹研究所）
- G16. ウララ<sup>®</sup>DF（フロニカミド）の天敵7種に対する影響評価試験 (14:00～14:15)  
○武田千秋・山口晃一・平野耕治（石原産業株式会社中央研究所）
- G17. 野生の天敵は飢えている？：野外におけるヨーロッパトビチビアメバチの空腹度を測る (14:15～14:30)  
上野高敏（九州大学農学研究院）
- G18. 放飼天敵による生態系攪乱の可能性：飛ばないナミテントウを題材に (14:30～14:45)  
○三浦一芸・世古智一（近畿中国四国農業研究センター）
- G19. キク栽培でのIPMの実践に向けて－圃場周辺の土着カブリダニ類の分布状況－ (14:45～15:00)  
○国本佳範（奈良県農業総合センター）・印田清秀（奈良県北部農林振興事務所）・小山裕三（奈良県農業総合センター）・板谷弘樹・河野哲男・矢野栄二（近畿大学農学部）
- G20. 天敵ホテルを活用したハウレンソウケナガコナダニの防除と問題点 (15:00～15:15)  
○本田善之・東浦祥光（山口県農林総合技術センター）
- G21. タイリクヒメハナカメムシとブースター天敵のギルド内捕食の関係－複数の天敵種によるアザミウマ防除の可能性－ (15:15～15:30)  
○山口晃一（石原産業株式会社中央研究所）・柿元一樹（鹿児島県曾於農業改良普及センター）・井上栄明（鹿児島県農業開発総合センター）・柏尾具俊（九州沖縄農業研究センター）・平野耕治（石原産業株式会社中央研究所）
- G22. 天敵ウイルス製剤を利用した露地野菜のハスモンヨトウ防除 (15:30～15:45)  
○中野昭雄（徳島県立農林水産総合技術支援センター農業研究所）・神谷克巳（岐阜県生物工学研究所）・祖父江勇氣（揖斐川工業(株)）

【閉会】

(15:45)